

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案 件 名：鹿屋市立地適正化計画（素案）
- 2 意見の募集期間：令和4年7月7日～8月8日（33日間）
- 3 意見提出者：4人
- 4 意 見 数：7件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	5件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	2件
計	7件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>今後、総ての人たちが同意するとは限らない。意見が対立することもあるでしょう。大事なことは、それは、天の道、つまり、与えられた道を通るだけではわからないことがあります。人間ですから迷いもあります。そこを上手にハッピーにさせつつ未来に頑張るのだと思います。暗い言葉を100個考えるより、前向きな言葉、前進する言葉を使うほうがすくなくとも歩いていけるでしょう。立ち止まることもあります。けれど、時間が正解を見せてくれます。一所懸命考えても答えが出ないということです。未来は一步では解決しませんが、人が集まって見ると不便な時があります。それは時間切れを思った時です。そこで人が離れていくでしょう。時間切れはチャンスでもあります。どんなに考えても正解は1個だけとは限らない。大事なことはもう1つあります。誰も正解は知りません。</p>	E	御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

	<p>結局、アイデアとはなんでしょう？それは、永遠ではないということです。少しずつ出しましょう。あとは結果をみることばかりではなく、途中を楽しみましょう。結果に頼るのは危険です。あと、考えとはひらめきます。だが、それも永遠ではないということです。数値は教えません。人は教えてくれます。案外、簡単な解決方法を知っているかもしれません。さあ～無限の魂がそうさせます。先祖を大切にしよう。あとは頑張らなくてもいいです。頑張るより楽しむことです。そうすれば解決策が見つかります。楽しむことが最大の処方せんです。笑いましょう。笑って終わりにしましょう。それが一番の解決策なのではないでしょうか？</p> <p>【意見については原文のまま記載】</p>		
2	<p>コンパクトシティは「健全なまちづくり」と記されているが、より強調されるべきは「魅力あるまちづくり」ではないかと思う者である。魅力があれば人は自ずと集まってくる。</p> <p>「文化の力」を活かす施策にも力を注いでいくべきである。</p> <p>図書館と同じく「美術館」は生涯学習施設であるが、残念ながらこの地域には一つもない。</p> <p>小規模施設でも、他の文化施設との複合化施設でも良い。</p> <p>市民参画型の芸術施設として「美術館」を設置しなければならない。</p> <p>その前提として現状の段差が大きく使いづらい文化ゾーン、老朽化が進む城山地区文化施設の建替え複合化の検討を、市民を交え進めなければならない。</p> <p>コンパクトシティは長期的な施策である。文化ゾーン等の検討も再編時期に間に合うようにまた市民のより良い合意に至れるよう透明性をもって話し合う必要がある。</p>	C	<p>基本方針「多様な都市機能が集積した中心拠点の形成」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

3	<p>コンパクトシティの意図する方向性に異論はないが、技術革新によりこれから生活環境の激変が予想されることから、性急な進め方はしない方が良いと思う。</p> <p>強制力のない届出ということで、国の誘導する方に向いていくのは致し方ないことと思う。</p>	E	本計画案に対する賛同の御意見として承ります。
4	<p>市街地中心の再編のためのイメージや街区ごとのデザインを官民で描く必要がある。行政は、民間を後押しするというスタンスではなく、民間をリードするような中心地域のグランドデザインを描かないと進まない。民業には関わらないではなく、行政が前にも出ることも必要である。</p>	C	基本方針「多様な都市機能が集積した中心拠点の形成」に係る御意見として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。
5	<p>鹿屋市は大隅半島の核都市であるが、現状では町としての魅力に欠ける。住民の満足度が高く魅力ある街の機能は商業の充実だけでなく、文化的な機能が不可欠である。また、施策の中にリナシティについての再編や機能更新が示されているが、リナシティ単体では賑わいも限定的にならざるを得ない。魅力ある周辺地域との相乗効果がなければ、広域から来場したくなるエリアとしての魅力も生まれない。</p> <p>魅力ある街に再生するためには、行政が[街をデザインする]という視点が不可欠である。実現には時間もかかるが、デザインされた中心市街地の未来図を描くことはまちづくりに必須である。若い男女や子育て世代が楽しく充実した時間を過ごせる街区（おしゃれな飲食・物販、そして文化）が鹿屋の魅力に直結する。</p> <p>個人的には中心地域に美術館機能とデザインセンターを兼ねた庭園併設のアートの拠点施設を整備してほしいと願っている。本物に触れる学校教育の場や休日などでの制作拠点、あるいは地元産品のパッケージデザイン開発など多面的に鹿屋のイメージ向上にも寄与する拠点になるはずである。</p>	C	基本方針「多様な都市機能が集積した中心拠点の形成」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。

6	<p>マイカー保有率の高さから 220 号バイパス沿いが活性化してる現実がある。</p> <p>市民生活に不可欠となったこの通りの利便性を今後どうするのか。目を背けず指針を計画し、この計画に反映してはいかかがか。</p>	C	<p>本計画案では、市街地中心部を都市機能誘導区域に定め、商業施設等を集積・誘導することとしています。一方、郊外の国道 220 号沿線の土地利用の取組方針は、本計画案の上位計画である都市計画マスタープランに、広域的な交通利便性を活かした沿道サービス施設の立地を許容するなど、中心部とすみ分けを行うと定めていることから、都市計画法に基づく土地利用の規制制度を導入し、規制や誘導を進めております。</p> <p>なお、御意見については、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
7	<p>リナシティにワクワク感なく、レポートで立ち寄りたい施設になっていない。</p> <p>P D C A の C をされてはいかかがか。</p>	C	<p>リナシティかのやについては、商店街等の関係者と連携しながら、効率的な管理運営と施設機能の充実を図り、集客力を向上させることなどを目的に、若い事業者等との意見交換やサウンディング型市場調査等を実施するなど、施設周辺の交流人口の拡大にもつながる取組を検討しているところです。</p> <p>なお、御意見については、基本方針「多様な都市機能が集積した中心拠点の形成」に係るものとして承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>